

あいちカーボンリサイクルビジョン～カーボンリサイクルコンクリートの地産地消に向けて～



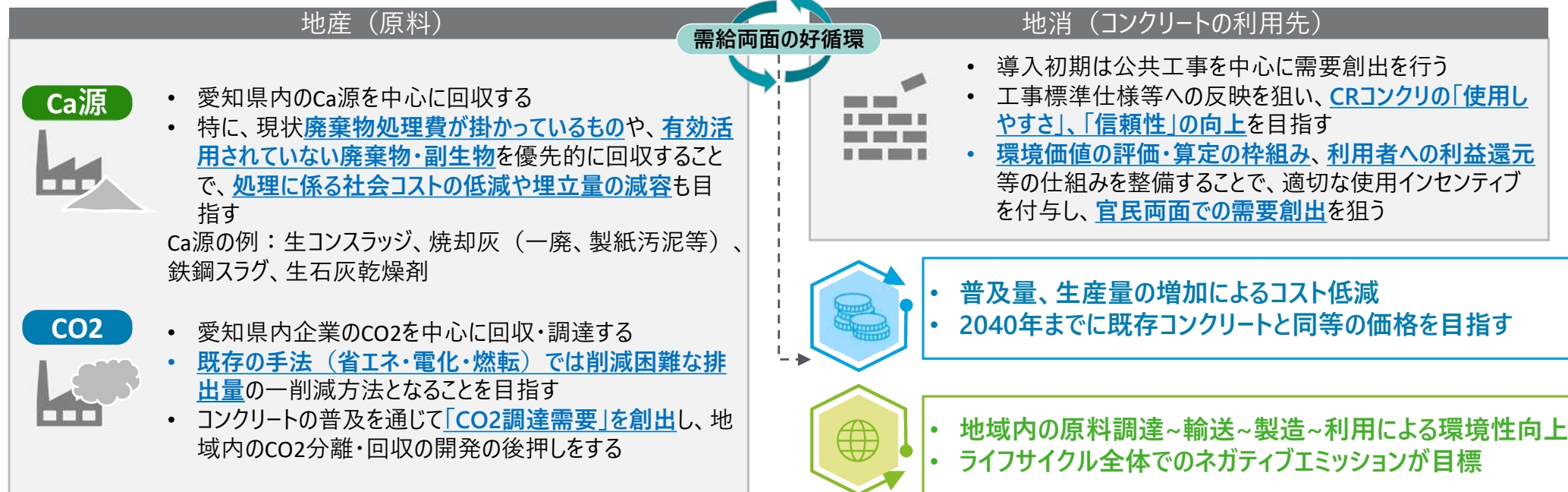
愛知県のCO2排出状況・CCU技術の位置付け

- ✓ 2021年度の愛知県のCO₂排出量は6,560万t-CO₂/年であり、そのうち約53%を産業部門が占めることから、産業部門の革新的なCO₂排出量削減策が必要である。
- ✓ 産業において、既存の手法（省エネ・電化・燃転）では削減困難な分野に対するCCU（Carbon Capture and Utilization）によるCO₂排出量削減は有用である。

CCU技術における「カーボンリサイクルコンクリート」の位置付けと愛知県における目標

- ✓ カーボンリサイクルコンクリートは①水素の不使用、②CO₂の長期固定、③カーボンリサイクル製品の中では相対的に技術的に成熟していること、の3点においてメリット・優位性を有しており、化学品や燃料と並行して開発に資する技術である。
- ✓ 愛知県においては、2050年でCO₂にして最大約130万[t-CO₂/年]*2に相当するカーボンリサイクルコンクリートの製造を目指す。

CRコンクリートの地産地消及びサプライチェーンの好循環に向けたビジョン



出所：*1 大成建設HP、『カーボンリサイクル・コンクリートを用いた根固めブロック』の現場実証を開始、https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2022/221212_9200.html

*2 経済産業省、「カーボンリサイクルロードマップ」CCUによるCO₂削減量より算定

カーボンリサイクルコンクリートの普及にむけたロードマップ^o



※ プロジェクトの進捗や外部環境動向等を踏まえ、適宜見直すこととする。